

令和２年度１２月補正予算について

1 一般会計

(1) 補正額 1, 208, 648千円

(2) 補正後の予算額 95, 182, 630千円

[主な内容]

(歳出)

- 新型コロナウイルス感染症緊急対策基金・市民ホール整備基金・ふるさとみどり基金・奨学基金の積立て(補正予算書22・26頁)
- ふるさと応援寄附金事業費の増額(補正予算書22頁)
- ◎庁舎等維持管理事業費の増額(補正予算書22頁)
- ◎デジタル化によるまちづくり推進事業費の計上(補正予算書22頁)
- ◎公共施設再編事業費の増額(繰越明許費の追加)(補正予算書22頁)
- 市民ホール整備事業費の増額(債務負担行為の変更)(補正予算書22頁)
- 過年度市税等過誤納還付金及び加算金の増額(補正予算書22頁)
- ◎旧支所施設管理事業費の減額(補正予算書22頁)
- 生活保護システム改修費の計上(補正予算書24頁)
- 生活保護費の増額(補正予算書24頁)
- 介護保険事業特別会計繰出金の増額(補正予算書24頁)
- ◎いこいの森ワーケーション環境整備事業費の計上(補正予算書24頁)
- ◎レンタサイクル事業費の増額(補正予算書24頁)
- ◎プレミアム付観光券事業費の計上(繰越明許費の追加)(補正予算書24頁)
- 町田踏切改良事業費の減額(継続費の変更)(補正予算書24頁)
- ◎広域交流施設ゾーン連絡通路整備事業費の減額(継続費の変更)(補正予算書24頁)
- ◎公共交通特別支援事業費補助金の計上(補正予算書24・26頁)
- ナラ枯れ樹木伐採委託料の計上(補正予算書26頁)
- ◎修学旅行中止費用補償金の計上(補正予算書26頁)
- 学校図書購入費の計上(寄附金充当)(補正予算書26頁)
- 史跡小田原城跡銅門渡櫓門修復事業費の計上(繰越明許費の追加)(補正予算書26頁)
- 旧青少年相談センター用地整備費の計上(繰越明許費の追加)(補正予算書26・28頁)
- 図書館予約棚コーナーIC機器借上料の減額(債務負担行為の変更)(補正予算書28頁)
- 予備費の増額(補正予算書28頁)

◆債務負担行為の追加

- リサイクル施設運転等委託料（令和2年度から令和7年度）
- 道路維持修繕事業費（令和2年度から令和3年度）
- 河川維持修繕事業費（令和2年度から令和3年度）
- 学校給食センター整備に伴う資材倉庫設計等委託料（令和2年度から令和3年度）
- 学校給食調理委託料（令和2年度から令和5年度）

（補正予算書31頁）

2 介護保険事業特別会計

(1) 補正額 15,111千円

(2) 補正後の予算額 15,722,111千円

[主な内容]

(歳出)

- 事務処理システム改修費の増額（補正予算書38頁）
- 指定機関等管理システム改修事業負担金の増額（補正予算書38頁）

3 病院事業会計

(1) 補正額 83,060千円

(2) 補正後の予算額 15,268,507千円

[主な内容]

(収入)

- 補助金の増額（補正予算書48・50頁）
- (支出)
- 医業費用の増額（補正予算書48頁）
- 建設改良費の増額（補正予算書50頁）
- 市立病院新病院建設基金の積立て（補正予算書50頁）

4 下水道事業会計

[主な内容]

◆債務負担行為の追加

- 汚水渠未普及地区解消事業費（令和2年度から令和3年度）
- 長寿命化事業費（令和2年度から令和3年度）

（補正予算書53頁）

5 全会計合計

(1) 補正額 1,306,819千円

(2) 補正後の予算額 187,283,119千円

市議会 12月定例会補正予算（案）計上の主な事業

<p>●新型コロナウイルス感染症対策関連 (事業費：57,671千円)</p>	
事業内容	<p>新型コロナウイルスの感染拡大により、「新しい生活様式」としてテレワークやワーケーションの機運が高まっていることから、交通の利便性が良く、豊かな自然環境を備えた「旧片浦支所施設」の民間利活用に向けた準備、及び「いこいの森」の整備に着手する。また、混雑を避け、個別志向の高まりから、小田原駅周辺からの移動に便利なレンタサイクル事業を強化するとともに、売上の低迷が続く市内の観光事業者を支援するため、プレミアム付観光券（発行総額 1.3 億円、プレミアム率 30%）を発行して消費を喚起し、地域経済の回復を図る。</p> <p>◎公共施設再編事業費の増額（繰越明許費の追加） ◎旧支所施設管理事業費の減額 ◎いこいの森ワーケーション環境整備事業費の計上 ◎レンタサイクル事業費の増額 ◎プレミアム付観光券事業費の計上（繰越明許費の追加） (補正予算書 22・24頁)</p> <p>市民の日常生活に欠かせない移動手段を提供する交通事業者は、社会の安定の維持の観点から不可欠なサービスとして国から事業継続の要請を受け、運行継続に努めていることに鑑み、感染防止対策に係る支援を行う。</p> <p>◎公共交通特別支援事業費補助金の計上 (補正予算書 24・26頁)</p> <p><その他関連事業> ◎庁舎等維持管理事業費の増額 ◎広域交流施設ゾーン連絡通路整備事業費の減額（継続費の変更） ◎修学旅行中止費用補償金の計上 (補正予算書 22・24・26頁)</p>
<p>●情報共有の推進 (事業費：1,750千円)</p>	
事業内容	<p>未来に向けて市民の暮らしがより一層便利で快適なものとなるよう、市を挙げて『デジタル化によるまちづくりの推進』に取り組む。具体的には、デジタル関係の専門知識を有するデジタル・エグゼクティブ・アドバイザーを設置するとともに、産学官連携の「(仮称)小田原市デジタル化推進協議会」の設立に係る支援を行う。</p> <p>◎デジタル化によるまちづくり推進事業費の計上 (補正予算書 22頁)</p>

